

## 1. ゴミステーションへの出し方について（広沢区）

ゴミ袋の地区名・名前なし、指定日以外のものを出すなど、全然守られていない箇所がある。残ってしまうため、自分の名前を記入し回収してもらっている。外国人に対する指導は行っているのか。出し方、分別方法のパンフレット、案内書等の配布やアパートなどの家主、管理人への行政指導をしてほしい。

A 外国人へのごみ出しの指導は、班内・班外世帯を問わず英語、ポルトガル語、中国語で記載した「ごみカレンダー」を配布している。ごみ集積所にも掲示してある。アパート等へは、管理人にも指導を依頼している。ポルトガル語の通訳も配して窓口で対応できる。

しかし、外国人が入居しているアパート付近のごみ出しについての苦情は多く寄せられている。昨年 8 月、外国人へのマナー向上対策として「ごみの指導手引き書」を作成し、市内アパート等を管理している約 30 事業者へチラシの配布を依頼したところ約 600 部の要望があった。窓口での外国人登録時にも配っている。ごみの件は市役所「生活環境室」まで相談してほしい。

去る 8 月 12 日に八千代公園で開かれた外国人との共生イベント「フェスタ・アミーゴ」の会場でも、職員がパンフレットを配布しながらゴミの分別指導を行った。

また、市ではゴミだけでなく、外国人が市内で生活するのに必要な情報やルール等を一冊にまとめた「総合的な翻訳版の冊子」を作成中で、その中にも「ごみ出しルール」を掲載する。スズキの工場拡張に伴いこれから外国人労働者も入ってくるだろう。

今後も在住外国人と地域住民との共生が進むよう生活情報を提供していきたい。

## 2. 新 5 年生に新しいヘルメット支給の目的（広沢区）

小学校 5 年生になると新しいヘルメットが全員に支給されるがなぜか。5 年生全員への配布となると金額もかかるだろう。今までのヘルメットでも十分使えるのに無駄ではないか。

A かつて、旧御前崎町では個人負担で購入、旧浜岡町では交通安全会費から一括購入し、無料配布していたが、合併協議や保護者の要望で現在、幼稚園・保育園の新 4 歳児と新 5 年生を対象に無料で配布している。

ヘルメットの廃棄・交換基準は、異常が認められなくても 5 年である。

現在、市では、子供たちが安全に登下校できるためのインフラ整備を進めているが、まだまだ危険な箇所もある。車社会のこの地域で万一交通事故が発生した場合、大切な頭部を守るのがヘルメット。子供たちが中学校の自転車通学までの利用を考慮して、新 5 年生時に配布している。

## 3. 耐震水道管の埋設工事の進捗は（広沢区）

耐震水道本管の埋設工事を合併前から行っていたが、現在工事していないようだ。工事の出来高は。

A 水は確かに貴重だ。市内の水道管布設工事や布設替工事は、毎年、継続的に必要とする箇所を予算の範囲内で耐震管に更新している。

合併以来、平成 16 年に 40 箇所、平成 17 年に 52 箇所、平成 18 年に 51 箇所の工事をしている。

御前崎地区、白羽地区ともに工事をしている。本年度も、大山区、女岩区、新谷区、中原区、白浜区、新神子区で水道工事を計画している。工事中は、周辺に迷惑をかけることになるが、協力してほしい。

#### 4．耐震水槽の設置状況について（広沢区）

市役所御前崎支所駐車場下に埋設した水の浄化が出来る水槽は現在何カ所か。今後増やす計画はあるか。能登や新潟の地震報道を見ても水は大事だ。万に備えなるべく多く埋設してほしい。

A 現在、御前崎地区は、平成 18 年度に御前崎支所、白羽小、御小に 100 トンを設置してある。

ちなみに浜岡地区は朝比奈、比木、新野、高松に 60 トンを、御前崎総合病院、市役所庁舎、東小学校に 100 トンをそれぞれ 1 基ずつ設置してある。今のところ、今後の計画はない。

東海地震をはじめとする大規模災害時の生活用水の確保は非常に重要である。このため、配水池への緊急遮断弁の設置や耐震性防火水槽を整備してきたが、水道施設が寸断された場合を想定すると、まだ水の確保が十分だとはいえない。港を利用した自衛隊等の給水活動などに頼ることになるかもしれないが、耐震性があり、非常時には飲料水及び消火水利として活用できる飲料水兼用耐震性貯水槽を整備し、貴重な水源を確保する。

#### 5．市内の水源について（広沢区）

合併して水道水源が 2 カ所あると思うが、本管は繋がっているか。いつくるかわからない東海大地震だが、能登や新潟地震でも水道の完全復旧は 30 日ほどかかったようだ。万全の対策を講じてほしい。

A 上水道事業における現在の配水区は、御前崎地区が御前崎配水池の 1 箇所から高区、低区の 2 つの配水区に分かれている。高区の地区には加圧ポンプで送水し、低区の地区には自然流下で送水している。

浜岡地区は、大兼、新野、高松、朝比奈の配水地から自然流下により送水している。

御前崎地区と浜岡地区はそれぞれ独自の配水管路で、現時点では繋がっていないが、一体化に向けて工事を水道部で進めている。

なお、白羽神社から東側の地域については高台で浜岡地区からの自然流下では水圧が低いいため、御前崎配水池からの送水となる。

## 6．海福寺下（ドンドン）の整備についての提案（西側区）

海福寺の下にあって、眺望が素晴らしく、歴史的なあともみられる場所。きれいな湧き水のため生活水に使用されていた時代もあった。現在入口付近は崩れる危険性があり、このままでは全体が埋もれてしまいそうだ。水路、貯水槽もあることから、自然環境を生かした遊歩道をつくれれば公園のようないい場所になる。湧き水も非常用の水源となる。整備を提案する。

A 現場を見ると確かに水が湧いており見晴らしのよい場所。

しかしこの区域は「急傾斜崩壊危険地域」に指定されており、急ながけ地が上下にある。道路（寺坂線）も一部が改良されていない。「急傾斜に対する安全策」と「道路交通の安全対策」が両立されてこそ、自然を生かした公園整備ができると考える。地権者の了解が得られ、改良工事と併せて計画を検討することは可能だが、単独で計画することは難しい。

## 7．すぐやる課の設置について（女岩区）

地区からの要望をあげてもなかなか処理されない、問い合わせなければ何の返答もない。

新聞によると、島田市で市民からの要望件数が3,864件あり、3,669件が処理され、執行率が95%という成果をあげている。御前崎市でも設置して迅速な対応ができないか。

A みなさまからの要望はすぐ対応できるもの、長期にわたるもの、あるいは予算を伴うものなど多種多様。島田市の詳細はわかりかねるが、市では来庁者にはワンストップサービスを提供し、対応できるものは迅速に行うよう指示し、可能な限り要望を実現するように努力している。万一对応できない場合はその理由、進捗状況、今後の見通しなど説明する。新しい課を設置するという手段の提案だが、当面は現在の体制で対処していきたい。

## 8．回覧文書を減らせないか（女岩区）

月2回の町内会長宅への回覧文書量が非常に多い。本当に見るのは1/3くらいではないか。必要な人は市役所、支所、各地区公民館に置いてあるし、ケーブルテレビでも放映されている。歳出削減にもつながると思うがどうか。

A 町内会には行政への手助けをいただき感謝している。回覧文書は行政改革の中で件数を減らすよう努力するが、みなさまへの重要な情報伝達手段。ケーブルテレビの文字放送や音声告知も利用しながら、なお必要なものを町内会へ依頼する。ちなみに、回覧文書の件数は平成16年度が110件、平成17年度が116件、平成18年度が101件。方法や必要性を十分検討していく。

## 9．行革の進展に伴う町内会の負担増（女岩区）

行政改革には一市民としてサービスの低下を招くことのないよう成果を期待している。ただ市

役所内の改革は進む一方で、町内会の年間行事を日曜・祭日に計画立案するが市役所、公民館からの要請、依頼が非常に多い、加えて平日には市役所、公民館などの会合があり、年中無休の状態である。頭を使い、時間と身体を使い、精神的にも体力的にも重圧を感じる。市ではどう考えている。

A 町内会のみなさまには、文書や各種行事の案内など大変世話になっている。中でも町内会長は、市役所との連絡調整に加え、町内会行事のまとめ役として大変ご苦労されていると拝察する。

市でも行政改革の中で会議の回数削減と時間帯を配慮する、配布文書の削減、各種行事への参加の必要性などを再度検証し、負担軽減に努力していきたい。

行政改革大綱にも示されているとおり、「地域協働の推進」、行政とみなさんとがと一体となって効率よい行政サービスを提供したい。今後とも町内会、市民のみなさまには協力願いたい。

#### 10．観音坂拡幅工事について（女岩区）

3年前からの要望で近年車の通行が増加し、観音坂下側入り口で不便をきたしている。すでに測量などは終了しているようだが、その後の状況と工事の見通しは。

A 合併前から要望の強かったこの路線は港と市街地を結ぶ重要な路線として位置づけている。観音坂（市道 258 号線）下側入口の拡幅工事には、取り組んでいるが、地元のみなさまには大変不便をかけている。拡幅には多額の用地・補償費、工事費が掛かると考えられる。市単独で早期に施工することは非常に厳しい。現在、補助事業等の採択が得られるように県に強く要望している。「いつから着手できる」という答えが出せない。予算が付けば土地は鑑定評価に基づき、補償はそのときの補償基準で算出することになる。

#### 11．御前崎公民館の夜間使用と管理について（女岩区）

夜間に御前崎公民館を使いたくても、管理人がいないため使えない。白羽公民館は使えるのに、どうすれば使えるのか。これも地域格差のひとつだ。

A 公民館は各館に館長と事務員を配置している。ただ夜間は、市内 8 地区の公民館は使用申請書を提出し、許可を得て使用している。鍵の返却方法、緊急の連絡など詳細は公民館と協議してほしい。

#### 12．港の同報無線が聞き取りにくい。改善してほしい。

A 同報無線のスピーカーは港には 8 つある。そのうち 500 メートル聞こえるストレートホーンスピーカーとワイドに 300 メートル聞こえるレフレックススピーカーが設置されている。

重機や船の音で聞き取りにくいといわれ、非常時の非難などに支障をきたすことから県と港湾振興室で調査している。それをもとに改善していきたい。